

令和 8 年度

浜 松 学 院 大 学

地 域 共 創 学 部

外国人留学生入試 B 日程 問題

「小論文」

注 意 事 項

1. 問題用紙は試験開始の合図があるまで、中を見てはいけません。
2. 問題用紙および解答用紙に、受験番号および氏名を必ず記入してください。
3. 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
4. 試験時間は 60 分です。
5. 印刷に不鮮明な所がある場合は、挙手して知らせてください。
6. 試験終了後、問題用紙および解答用紙を回収します。
回収が終わるまで、席を立たないでください。

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

令和8年度 外国人留学生入試B日程【小論文】

次の文章を読み、設問に答えなさい。

【課題文】

「(社説) スマホ規制条例 依存しない街づくりを」

1日の余暇のスマホ利用は2時間以内を目安に――。

愛知県豊明市が全市民を対象に、スマホの使いすぎに警鐘を鳴らす条例案を議会に提出した。義務や罰則を科さない理念条例とはいえ、個人の生活に踏み込むもの。納得できる説明が必須だが、これまでの対応は心もとない。

子育て中の市民の相談などがきっかけだったという。でも唐突な提案で、市に電話やメールで100件超の意見が寄せられている。「なぜ条例で使用を制限するのか」などと、否定的な意見が7割だ。

市は強制はしないし、勉強や仕事の利用は除くし、家庭の話し合いの結果なら3時間でも4時間でもいい、としている。えらく柔軟な弁明だ。ならば逆に、わざわざ条例を決める意味は何なのか、と思えてくる。

しかも対策は家庭のルールで、という。もともと多くの家庭が悩んでいる。市や学校がどうかかわるのか、具体的な説明が必要だろう。反発を招くだけでは、残念だ。

香川県も2020年にネット・ゲーム依存症対策条例を施行した。家庭で話し合い、18歳未満の利用を1時間以内にしようというものだった。だが、昨年の調査で県内の中学生の65%が1時間以上オンラインゲームをしている。

かけ声だけでは現実を変えられない。そもそも長時間の利用が健康にどう影響を及ぼしているのか。データを示さないと、規制も受け入れられない。本来は国が詳細調査して提示すべきだ。

こども家庭庁の調査でも、10～17歳は平日5時間超もネットを利用している。学力との関係、ながらスマホの危険性など、ほかにも多くの懸念がある。海外では、オーストラリアが12月に、法律で16歳未満のSNS利用を禁じ、違反した事業者に罰金を科す。一律禁止の手法はともかく、国レベルの議論が必要だ。

豊明市の条例の主眼は子どもだ。そのための問題提起、というなら、議会もまず当事者である子どもや保護者に実態を聴くところから、始めてほしい。

親が乳幼児にスマホを見せるのはなぜか。人混みで泣かれて周りに迷惑がられるか

らか。ひとり育児で、家事から手が離せないからなのか。

スマホを制限したら、子どもはどうするだろう。安全かつ自由に遊べる公園、運動場はあるのか。

結局、子育てを温かく見守る地域社会、環境をつくっているか、ということにかかわっている。スマホに依存しない街づくりへ道筋を整えることこそ、自治体の責務だ。

(朝日新聞 社説 2025 年 9 月 1 日)

設問 1 本文の要旨を 200 字程度でまとめなさい。

設問 2 スマートフォンの利用を制限する理念条例について、あなたは賛成か反対か、立場を明確にした上で、その理由を 400 字以内で述べなさい。